

年頭のご挨拶



奥出雲町長 糸原 保



2024年の年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。まず初めに、1日に発生しました能登半島地震におきまして、お亡くなりになりました皆様には、お悔やみ申し上げますとともに、被災されました多くの皆様にお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を願っております。

本地域におきましても、何時こうした災害が起こるのか解りません。常に有事即応体制、訓練などの強化に努めていく必要があります。改めて気を引き締めるところであります。

さて、昨年は、私が訴える政策や、国の新たな政策である脱炭素・デジタル社会の実現に向けた計画とするため、第2次奥出雲町総合計画・総合戦略の改訂を行いました。具体的には、保育料の無料化や18歳までの医療費の無償化、子育て応援金創設やイクボス宣言、脱炭素宣言やこれに伴う事業の拡充、子どもたちのやりたいを応援するまちづくりチャレンジ事業、奥出雲を担う皆様の意見を反映する奥出雲未来会議、三成公園ホッケー場へのAIカメラの導入、三成や横田地区を中心としたコンパクト・ネットワークのまちづくりを行うための立地適正化計画の策定着手などに取り組みななど、まさに、奥出雲創生のスタートの年になりました。

本年は、改訂後の総合計画に基づき、総力戦のまちづくりをより一層進めてまいりたいと考えております。

私が日頃訴えております4つのまちづくり

- ① 子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり
- ② 活力のある産業の振興
- ③ 安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり
- ④ 奥出雲の暮らしが幸せだと実感できるまちづくり

について、皆様とともに着実に進めていく年になると思います。

日本の人口減少・少子高齢化のスピードは益々激しく、特に本町のような中山間地域は施策を

打っても、非常に厳しい状況が続いており、歯止めがかからない状況です。町政の運営につきましても、厳しいご意見も頂いており、役場の対応もまだまだ皆様のご期待に届いていない状況です。

しかし、町民の皆様の様々な活動や笑顔を見ることが、輝かしい奥出雲町の未来を確信し、私自身も勇気と希望を感じ、奮い立っているところであります。

私は、地方創生・奥出雲創生とは、地域社会を変えていくことだと思っています。町民の皆様、町を応援いただく皆様と一緒に奥出雲の伝統文化、地域資源などを最大限尊重し、守りつつも、新しい考え方も取り入れて、これからの世代が住みよい社会に変えていくことが必要です。子育て応援、イクボス、環境政策、SDGs、デジタル化など新たな取り組みを取り入れて、新たな社会を創っていく、まさに総力戦のまちづくりです。少ない財源に魂を込めて、使命感と情熱をもって町政運営に邁進してまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



選挙管理委員会

委員に

若槻進さん

が就任

選挙管理委員会委員に欠員が生じたため、12月10日付けで若槻進さん（布勢）が新たに就任されました。

選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため、奥出雲町長から独立した機関です。

任期は、令和7年6月22日までです。よろしく申し上げます。



祝 第3位 第32回浜田ー益田間 駅伝競走大会 (しおかぜ駅伝)

しおかぜ駅伝が12月10日に、4年ぶりに開催され、県内の各地域から33チームが出場しました。この駅伝は、全8区間、39・6キロからなり、中学生から一般の男女8人のランナーがタスキを繋ぎました。

レースは、1区で先頭となり、2位以下を大きく引き離しましたが、2区以降、他チームが力走し、追い上げてきました。第6中継所で奥出雲は、浜田、益田、平田に続く4位でタスキを受け取り、粘り強い走りにより順位を1つ上げ、3位でゴールテープを切りました。トップでゴールをした浜田とは、4分8秒差である2時間8分25秒という結果でした。

監督を務めた藤原幹男さんは、「チームの目標である『優勝』に届かなかったけれど、各區間が力を出し切ったレースでした。チームの課題を練習で克服し、来年も優勝を目標にチーム一丸となって頑張りましょう。」と話されました。

また、第1区に加藤小雪さんは、2・4キロを7分29秒という記録で走り、見事、区間賞を受賞されました。



太陽建設コンサルタント株式会社様から 企業版ふるさと納税

太陽建設コンサルタント株式会社様から町に対し、企業版ふるさと納税による100万円の寄附をいただきました。

同社は、松江市を拠点に社会基盤であるインフラを整備する企業として、計画・調査・設計・施工管理などの技術コンサルティングを行っておられ、高い技術力で県内各所において、道路、橋梁、河川などの社会資本を整備し、地域の発展と人々の暮らしを守る仕事をされています。

この度いただきました寄附は、「都市とのつながりを築き、奥出雲町へ新しいひとの流れをつくる事業」において、学校のICT機器整備等に活用させていただきます。

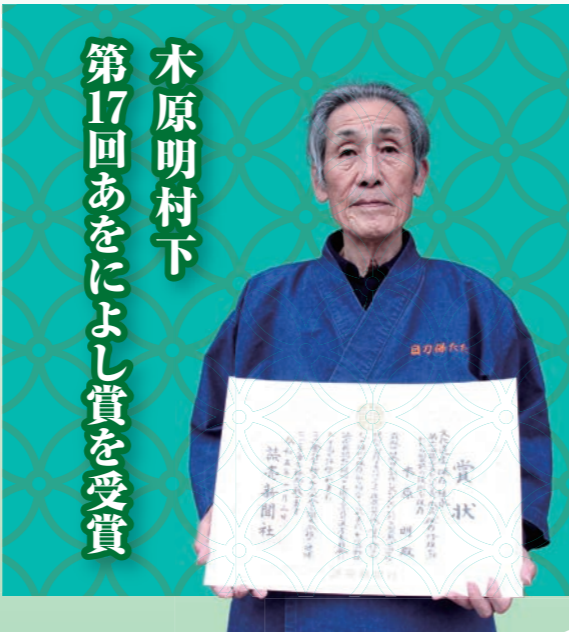


▶太陽建設コンサルタント (株)の古藤茂利専務取締役 (右)

企業版ふるさと納税は、町外の企業が寄附を通じて町が行う地方創生の取り組みを応援いただいた場合に、税制上の優遇が受けられる制度です。町はこの制度を活用して企業からの寄附を募り、「奥出雲町まち・ひと・しごと創生推進計画」に掲げる取り組みを推進していきます。



木原明村下 第17回あをによし賞を受賞



読売新聞社が主催する文化財の保存や伝統文化継承の現場に光をあて、その最前線で活躍する個人・団体を顕彰する「第17回あをによし賞保存・修復部門」を、国選定保存技術保持者である村下の木原明さんが受賞されました。

木原さんが、日本刀にかかせないたたら製鉄の高度な技術を習得するだけでなく、後進の育成にも努め、技術の保存に取り組んでこられた事が評価されました。

木原さんは、「この度は、名誉ある賞を賜り光栄に存じます。これも偏に昭和29年に日立製作所安来工場へ入社し、砂鉄と木炭を原料とする製鉄に精進したお陰です。今後も後継者育成と日本刀の原料「玉鋼」の品質向上と安定供給に専念いたします。」と話されました。